

「地域あんしんねっと」 ～ 点から線に ～

「向こう三軒両隣」といったご近所の間で、災害時などのいざという時に備えて、日々の安心な暮らしのため、日ごろからの見守りなどの日常生活支援ネットワーク「地域あんしんねっと」を構築します。

市が取り組む「災害時要援護者支援体制」のしくみのうち、地域における災害時の安否確認と避難支援を想定した日頃からの支援ネットワークを「地域あんしんねっと」として、全地域で実施体制が構築できるよう取り組みます。

災害時において要援護者支援を迅速かつ的確に行うため、日頃から高齢者や障害者など援助を必要とする人が、地域のどこにどのように暮らしているのか、要援護者の情報を「個別台帳」により把握するとともに、要援護者を支援するための関係づくりが重要です。高齢者の一人暮らし世帯など、災害時に何らかの支援を要する人とその近隣における支援者を結ぶ「地域あんしんねっと」の取組は、すでに地域ごとに民生委員児童委員、区長や自治会長等が中心となって進められつつあります。地域での支援ネットワークを充実させ、日頃からの見守り活動の輪を広め、漏れなく、そして、災害時のあらゆる場面に対応できるような取組を促進します。

< 「地域あんしんねっと」のイメージ図 >

